

様式 1

筆頭発表者の COI 申告書 (20 年 1 月 1 日～12 月 31 日:1 年ごとに過去 3 年間申告)

(発表時点から遡って過去 3 年間の発表内容に係る企業・組織や団体との利益相反状態を 1 年ごとに提出)

発表者名 (全員):

発表演題名:

項 目	該当の状況	有の場合、企業名などの記載
① 企業・組織や団体の役員、顧問職の有無と報酬額 (1つの企業・団体からの報酬額が年間総額 100 万円以上のものを記載)	有・無	
② 株の保有と、その株式から得られる利益 (1つの企業の 1 年間の利益が 100 万円以上のもの、あるいは当該株式の 5%以上保有のものを記載)	有・無	
③ 企業・組織や団体からの特許権使用料として支払われた報酬 (1つの特許権使用料が年間総額 100 万円以上のものを記載)	有・無	
④ 企業・組織や団体から、会議の出席(発表、助言など)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料などの報酬 (1つの企業・団体からの講演料が年間総額 50 万円以上のものを記載)	有・無	
⑤ 企業・組織や団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料 (1つの企業・団体からの原稿料が年間総額 50 万円以上のものを記載)	有・無	
⑥ 企業・組織や団体が提供する研究費 (1つの企業・団体から医学系研究(共同研究、受託研究、治験など)に対して申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた年間総額 100 万円以上のものを記載)	有・無	
⑦ 企業・組織や団体が提供する奨学(奨励)寄附金 (1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた年間総額 100 万円以上を記載)	有・無	
⑧ 企業・組織や団体が提供する寄附講座 (企業・団体などからの寄附講座に所属している場合に記載)	有・無	
⑨ その他の報酬(研究とは直接関係しない旅行、贈答品など) (1つの企業・団体から受けた報酬が年間 5 万円以上のものを記載)	有・無	

⑥、⑦については、筆頭発表者個人か、筆頭発表者が所属する部局(講座、分野)あるいは研究室などへ研究成果の発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業や団体などからの研究経費、奨学寄附金などの提供があった場合に申告する必要がある。

下記スライド例にて COI 開示

様式 1-A 学術講演会口頭発表時, 申告すべき COI 状態がない時

<p>日本透析医学会 COI 開示 筆頭発表者名 :</p>
<p>演題発表に関連し, 開示すべき COI 関係にある企業などはありません.</p>

様式 1-B 学術講演会口頭発表時, 申告すべき COI 状態がある時

<p>日本透析医学会 COI 開示 筆頭発表者名 :</p>
<p>演題発表に関連し, 開示すべき COI 関係にある企業などとして,</p> <ul style="list-style-type: none">① 顧問 :② 株保有・利益 :③ 特許使用料 :④ 講演料 : 例 : (株) ○○○ ① (2013 年)⑤ 原稿料 :⑥ 受託研究・共同研究 :⑦ 奨学寄付金 : 例 : ×××社 ② (2014 年)⑧ 寄附講座所属 :⑨ 贈答品などの報酬 :

学術講演会にて、ポスター掲示の最後に COI 状態を開示する。

様式 1-C 申告すべき COI 状態を開示方法

筆頭発表者：演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などはありません。

或いは、

筆頭発表者の COI 開示

- ① 顧問： 例 技術顧問 ① (2012-2014 年)
- ② 株保有・利益：
- ③ 特許使用料：
- ④ 講演料：
- ⑤ 原稿料：
- ⑥ 受託研究・共同研究：例 受託研究① (2012, 2013 年)
- ⑦ 奨学寄付金：
- ⑧ 寄附講座所属：
- ⑨ 贈答品などの報酬：